

2026年1月22日

各位

不動産投資信託証券発行者名  
 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号  
 恵比寿ネオナート  
 ジャパン・ホテル・リート投資法人  
 代表者名 執行役員 増田 要  
 (コード番号：8985)

資産運用会社名  
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 青木 陽幸  
 問合せ先 取締役 コーポレート本部長 板橋 昇  
 TEL：03-6422-0530

2025年12月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の2025年12月度におけるホテルの運営状況につき、変動賃料等導入28ホテル（注1）合計の売上高（注2）並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR及びRevPARを下記のとおりお知らせいたします。

なお、地域別の運営実績につきましては、本投資法人のウェブサイト（注3）をご参照ください。

記

ホテル／項目		12月度	前年同月比 増減(注10)	前年同月比 増減率	累計 (注11)	前年累計比 増減(注12)	前年累計比 増減率
変動賃料等導入 28ホテル合計	稼働率	86.0%	-0.3%	-0.4%	86.5%	3.4%	4.1%
	ADR (円)	22,365	1,141	5.4%	21,440	1,922	9.8%
	RevPAR (円)	19,238	916	5.0%	18,545	2,321	14.3%
	売上高 (百万円)	7,160	350	5.1%	78,114	8,406	12.1%
	宿泊部門	4,611	223	5.1%	52,337	6,477	14.1%
	料飲部門	2,299	115	5.3%	22,969	1,722	8.1%
	その他	250	12	5.2%	2,808	206	7.9%

<特記事項>

本投資法人の変動賃料等導入28ホテルにおける2025年12月度及び通期実績について

宿泊部門では、引き続き旺盛な国内外レジャー需要を高単価で取り込み、RevPARは12月度で前年同月比+5.0%、通期では+14.3%となりました。料飲部門では、部門全体の売上が12月度で前年同月比+5.3%、通期では+8.1%となり、両部門とも好調に推移しました。

2026年も、引き続き堅調な国内需要や旺盛なインバウンド需要による好調な宿泊マーケットを見込んでいます。足元では中国の渡航自粛により一定程度の影響があるものの需要全体に対しては限定的であり、他アジアや欧米等のインバウンド需要を高単価で取り込み、各ホテルにて更なるRevPAR成長を目指します。

(注1) 変動賃料等導入28ホテルとは、以下の28ホテルをいいます。

神戸メリケンパークオリエンタルホテル  
オリエンタルホテル 東京ベイ  
なんばオリエンタルホテル  
ホテル日航アリビラ  
オリエンタルホテル広島  
オリエンタルホテル ユニバーサル・シティ  
オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ  
アクティブインターシティ広島 (シェラトンブランドホテル広島)  
オリエンタルホテル福岡 博多ステーション  
ホリデイ・イン大阪難波  
ホテル オリエンタル エクスプレス 福岡天神  
ヒルトン成田  
インターナショナルガーデンホテル成田  
ホテル日航奈良  
ホテル オリエンタル エクスプレス 大阪心斎橋  
ヒルトン東京お台場  
オリエンタルホテル京都 六条  
ホテル オリエンタル エクスプレス 福岡中洲川端  
ホテルJALシティ関内 横浜  
イビスタイルズ京都ステーション  
イビスタイルズ札幌  
メルキュール札幌  
メルキュール沖縄那覇  
メルキュール横須賀  
the b 水道橋  
the b 池袋  
the b 八王子  
the b 博多

(注2) 売上高(その他)には、テナントや物販等の売上が含まれます。

(注3) 地域別の運営実績につきましては、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jhrth.co.jp/ja/portfolio/review.html>

(注4) 上記の数値及びコメントは資産運用会社が賃借人等から提供を受けた数値あるいは情報に基づいて算出・作成したものです。コメントはあくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。

(注5) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、資産運用会社による独自の検証を行い得る性質のものではなく、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。また、各月の売上及びその合計は、後に提出する有価証券報告書等に記載される各月の売上あるいは6か月間及び年間の売上合計と一致しない場合があります。

(注6) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。

(注7) ADR：平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

(注8) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。

(注9) 客室稼働率については小数点以下第二位を、ADR、RevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

(注10) 前年同月比増減とは当該月と2024年同月との増減を記載しています。

(注11) 累計とは期首(1月)から当該月までの累計値を記載しています。

(注12) 前年累計比増減とは、期首(1月)から当該月までの累計値と2024年期首から同年該当月までの累計値との増減を記載しています。

\* 本投資法人ウェブサイト：<https://www.jhrth.co.jp/>